

2013平和行進

2013年原水爆禁止国民平和行進は、6月6日から8日まで、三八地区7市町村で実施されました。

6月6日

6日は上十三との合同行進で長者まつり広場から市庁まで行進し、市民広場で引継集会が行われました。参加は163人でした。八戸原水爆禁止の会加盟の団体では八戸医療生協十八医労からの参加が56人、生健会20人、新婦人13人、職安分会10人の奮闘がみられました。また、市民団体や労組(高橋製作所労

2013平和行進

ニュース

三八地区平和行進実行委員会 ● 2013年6月18日
発行 ● 八戸市柏崎一丁目10-34 三八地労連気付 ● 電話・Fax 0178-47-8886

組13人)、個人の参加で昨年よりも多くなりました。

集会では、舛甚英文さん(十三原水爆禁止の会)が、初めて十和田市で市長メッセージをもらうことができたと報告しました。一緒に進行してきた、浪江町から十和田に避難している矢沢アイサさんが、「音楽を通じて原発と核兵器のない世界を



左端が矢澤さん

訴えています。一緒にがんばっていきましょう」とあいさつしました。小林貞八戸市長の「八戸市が平和市長会議の加盟都市として核兵器廃絶に向けて取

り組んで」いることを述べたメッセージ、秋山恭寛八戸市議会議長の「平和の輪がさらに大きく広がることを祈念するメッセージが紹介されました。横断幕やリレー旗を引き継いだ後、県内通し行進の久永淑さん(京都原水協)が、「京都へ配備予定のXバンドレーダーの情報収集と署名を集めるために青森県内の通し行進をお願いした。京都



の行進もあるので今回は青森市から三戸市・金田一までの行進に参加する」とあいさつし、大きな拍手を受けました。最後に参加者全員で「原爆を許すまじ」を歌いました

この日の午後、行進の前に五戸町と新郷村、八戸市を訪問しています。賛助の要請とペナント記帳等をお願いし、八戸市ではそれに加えて、引継集会へのメッセージもお願いしました。

いずれも快く協力していただきました。核兵器全面禁止のアピール署名は、五戸町議会議長、新郷村議会議長(後日郵送)から新たにいただきました。

6月7日

2日目はまず市民広場から司法センターまで歩きました。2・8kmの道のりを27人で行進し



ました。例年参加のコープあもりからの参加者がなく、残念ながら、人数がやや減りました。南部町は、孔明荘から役場ま



右端が通し行進の久永さん

中央は猪股原水協事務局長

でとポートピア南部から三戸駅までの二ヶ所を行進しました。役場で賛助とペナント、町長と議長の署名をいただきました。

三戸町は、黄金橋(きがねばし)から役場までを行進しました。役場では、賛助とペナント、議長の署名を頂きました。

田子町は HondaCars から行進の予定が見落としてその先まで進み、行進は少し短縮されました。田子町では、町長、議長、教育長の署名が準備されていま

した。三八七市町村のうち、前記の南部町と田子町がまだだったので、これで全自治体の署名が集まったことになりました。ペナントと賛助も協力していただきました。



田子役場前で、ご自分で作成した旗を見せる久永さん

田子から階上までは車で走りました。京都市・二条城で毎月、6と9の日に署名活動を行って



いて、修学旅行の高校生に訴えているという京都らしい話は移動中の車内でうかがいました。役場でペナント、賛助の協力を頂きました。その後、国道45号線を、車は車道、行進団は歩道を行進してアピールしました。

6月8日

3日目・6月8日の行進は長者まつりぐ広場から出発、県原水協の谷崎会長が合流しまし



横断幕の後方で手を振る谷崎会長。五戸町から1人が参加、25人の行進になりました。新郷村の行進は、診療所から役場まで、あざやかな緑の風を浴びての行進でした。

午後1時、三戸町役場で恒例の記念写真、生協労連や青森か

ら参加した全司法OB(県労連副議長の今さんの顔もありまし



た)、地元三戸の大向町議ら及び立花南部町議家族の参加で37人になりました。

役場から十和田食肉衛生検査所・三戸支所まで行進。県内通し行進の久永さんにあいさつしてもらいました。13時40分、金田一温泉駅付近に到着。最後の500メートルを行進し、岩手のみなさんの拍手を受けて駅前広場に到着しました。参加者が2人増え39人(岩手は30人余)。

岩手引き継ぎ

引き継ぎは予定を早めて45分から。青森県側からは県原水協谷崎会長が、県内行進で自治体署名が増えていることを述べま



した。久永さんはここからいったん京都に戻るが、もう一度福島での行進に参加し、気持ちのこもったリレー旗を受け取ると述べました。二戸市長のメッセージ、岩手側のあいさつと平和行進実行委員会の決意表明の後、うみねこ合唱団・十日市さんのアコーディオン伴奏で「原爆を許すまじ」を一緒に歌い、核兵器廃絶への変わらぬ決意を確かめました。岩手行進団の出発を見送った後、内田会長が3日間の行進取り組みへの感

謝を述べて解散しました。



岩手のみなさんは「原発ゼロ」の新しいゼッケン

まとめ

- ・三日間の参加者は述べ230人
- ・賛助・ペナント全7市町村と市議会議員、新郷村議会議長
- ・自治体署名新・敬称略)
- 首長 南部町・工藤祐直
- 田子町・山本晴美
- 五戸町・和田寛司
- 南部町・坂本正紀
- 三戸町・館 衡
- 田子町・澤口勝
- 新郷村・福山恵一郎
- 田子町・宇藤裕夫
- 教育長

原水爆禁止世界大会・長崎は8月7〜9日の三日間。青森は6日発。参加登録7/5まで。